

会議議事録

会 議 名	2015 年度 第 2 回教育課程編成委員会	
開 催 日	平成 28 年 2 月 27 日 (土)	
会 場	彰栄保育福祉専門学校本館 会議室	
参 加 者	委 員	参加者 8 名、 阿部 光佑、児島 康夫 帆苅 猛、加藤 啓、伏見 幸子、綾 牧子 芦野 裕一、根本 亮
		欠席者 2 名 山本 慎介、林 淳三
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ●プログラム ●履修規程 ●保育・教職実践演習日程 	
会 議 録	<ol style="list-style-type: none"> 1. 校長挨拶 (帆苅校長) 2. 再試験の実施に伴う履修規程の改正及び実施予定報告 (綾教務委員会委員長) 3. 保育・教職実践演習についての実施報告 (綾教務委員会委員長) 4. 関東学生パネル交流会の参加及び幼稚園との連携について (帆苅校長) 5. 本校の教育に関する改善事項の報告及び意見交換 ※詳細は別紙参照 6. その他 次年度の委員の依頼及び日程の確認 (加藤校長補佐兼保育科学科長) 	

各委員会らの質疑並びに意見及び学校の回答（順不同）

阿部 委員	<p>○学生が2年間の学びで、保育現場で働くことができるように、保育・教職実践演習及び再試験などを工夫されていることが良くわかった。</p> <p>自分も、長年保育者教育の現場で経験してきたなかで、学生及び教育課程だけではなく、教員の質も重要であると考えているが、彰栄新聞(*1)にある、記事を読み、昔から教員の質の向上も図っていた事に共感した。今後も、教員が協力し合う環境を大切にしてもらいたい。</p>
回答	<p>○保育・教職実践演習は、学生の自己点検などを実施して、不足する知識及び技術を自覚し向上させるために、複数の教員がそれぞれの専門性を活かして指導する方法としたので、学生自身の取り組み方などを、教員同士が情報を共有し連携及び協力することの重要性を改めて実感した。</p>
児島 委員	<p>○自分が勤めている施設の話となるが、離職率が少ない理由として、仕事ができなかったことを非難するのではなく、仕事ができるときに認められることが多いということであった。始めはやる気が感じられなかった実習生も、何かほめられたことで熱心になったこともあった。学生の良いところを見つけて伸ばすような指導を期待している。</p>
回答	<p>○子どもたちや高齢者などの利用者の前に立てる人材として送り出す為には、ある程度の自信も必要である。他校との交流会で表彰された学生を、チャペルアワーでも表彰し、成功経験を共有できるような配慮を心がけている。</p>
児島 委員	<p>○ボランティアに参加すると、視野が広がる体験ができる。地元の社会福祉協議会などに登録すると、学科にこだわらず参加できることなどを紹介してはどうか。</p>
回答	<p>○最近の保育者及び介護福祉士養成に関わる教育課程は、学生に求められる内容が多くなる傾向にあるので、時間的な余裕が無いため、ボランティアの参加が難しくなっている。ボランティアに参加できない学生には、学校のアッセンブリアワー(ホームルーム)などの時間を活用して、卒業生及び現場の方などの体験談などを聞く機会を設けている。</p> <p>(*1) 学園で年2回発行している学校行事の講演内容及び学生の報告などを記事として掲載している新聞。</p>